

x00

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

アーメン

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

石卷榮光教會宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX : 0225-22-4090

ホームページ : <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール : i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座：02280-8-2810

教会創立：1887年9月25日

集会案内

聖 日 礼 拝 毎週日曜日 午前10:30

早 朝 礼 拝 毎週日曜日 午前 7 : 30

「交 わ り の 会 毎 週 日 曜 日 礼 拝 後

み言葉と祈りの会 毎週水曜日 午後 7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2459		主日礼拝式順序		2025年2月9日 午前10時30分	
		受付 司会 献金 奏楽		礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。	
前奏		[1] 詩編第100編1～2節		司会者	
招きの言葉		26		一同	
讃美歌					
祈り				司会者	
聖書		「申命記」21章22-23節／「フィリピの信徒への手紙」2章6-8節 (旧約聖書314ページ / 新約聖書363ページ)			
讃美歌		51		一同	
お話し		「おのれを低くされる神」 日本基督教団仙台東六番丁教会牧師 中本純			
讃美歌		280		一同	
献金				一同	
報告				司会者	
讃美歌		90（3節のみ）		一同	
祝福の祈り					
後奏					
＊当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 ＊旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 ＊献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。					
∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞ 本日は「宮城中地区」との講壇交換の礼拝となりました。日本基督教団は「一つの教会」であることを建前としています。その実質を創り出す努力が今日の礼拝となっています。祈りつつ、公同の教会を与えて下さる御霊の導きを求めて、これからも歩み行きたいと思います。					

〇〇〇〇〇〇〇〇 今週の集会 〇〇〇〇〇〇〇〇	
☆ 「フォーサイス」読書会	2月10日(月)19:30～ オンラインにて
☆ 「クリシタン」読書会	2月12日(水)14:00～ 十三浜にて
☆ 「御言葉と祈りの時」	2月12日(水)19:30～ オンライン併用
〇〇〇〇 次週の予告(2/16) 〇〇〇〇	
☆ 講壇交換 主日礼拝(お話:川上直哉 牧師)	
[聖 書]	ダニエル書9章18節
[お 話]	「私たちの正しさではなく、神の憐みの故に」
[讃美歌]	27 351 90 [招きの言葉] 33
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

次週礼拝後、役員会を開催します。

〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇			
✦今後の予定は以下の通りです			
・3月2日(日) 牧師休暇・柴宿教会礼拝 (中澤竜生宣教師が10時半からの礼拝を担当) ・3月9日(日) 齋藤朗子牧師が10時半からの礼拝を担当 (川上牧師は日本基督教団南山教会の礼拝と講演を担当) ・3月11日(火) 追悼記念礼拝(石巻広域ワイズメンズクラブと共催)			

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	10人	み言葉と祈りの会	-
早朝礼拝	3人	聖餐式	19人
月 定 献 金		特 別 献 金	
川上恵 (1月) 山口美紀子 (2・3月)		感謝献金 渡邊邦子 聖餐式感謝 石井龍子 国分洋助 召天記念 石井龍子	
席上献金	¥18,100		

週 報 別 冊

2025 年 2 月 9 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【石巻栄光教会関係】

- 「愛と希望のコンサート」(宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会) : 中澤先生が中心になって継続している団体の、今年の催事のチラシです。3 月 8 日午後 2 時半から、東松島コミュニティーセンターにて、3 月 11 日午後 1 時半から、気仙沼第一聖書バプテスト教会にて、入場無料で行われます。
- 「仙台青年」(仙台 YMCA) : 教会敷地内にセンターを構えておられる団体の通信です。
- 「奇跡の 3.11 のピアノ演奏会」(千葉直美さん) : 金指先生のピアノコンサートが 3 月 8 日 14 時から春潮楼(石巻市中央 2 丁目 8-16)にて行われます。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「隠退教師を支える運動・100 円献金 ご参加・ご協力をお願い」(「隠退教師を支える運動」推進委員会) : 隠退教師の年金給付額と掛金との差額を埋めるべく、日本基督教団総会決議によって生まれ、今年で「47 年目」を迎えた信徒運動からの協力依頼です。
- 「NEWS」(会津放射能情報センター) : 2012 年に日本基督教団新潟教会との協力の中で生まれた保養施設「にいがたはうす」が終了するにあたり、これまでの活動の振り返りを語った座談会の様子などが掲載されています。
- 「東日本大震災 14 年記念礼拝のご案内」(日本基督教団東北教区) : 3 月 11 日 14 時 30 分から、日本基督教団白石教会を主会場として、齋藤篤牧師が説教を担当し、行われます。

- 「第 90 回 会津農民福音学校」(日本基督教団東北教区会津農村伝道センター) : 2 月 11 日 9 時半~15 時に、会津坂下教会にて、「羊と土」と題した講演会が行われます。

2. 牧師動静

2 月 3 日 (月)

午前中、中澤先生が主宰する「実践宣証会議」に出席し、午後、休暇を頂きました。

2 月 4 日 (火)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、休暇を頂き、夕方、全キリスト教教誨師連絡協議会の会議にオンラインで出席しました。

2 月 5 日 (水)

韓国からのお客様をお迎えし、石巻栄光教会・旧石巻ハリストス教会礼拝堂・サン・ファン館・「おむすび村」をご案内しました。

2 月 6 日 (木)

朝から、韓国からのお客様をお連れして福島県浜通りを訪問しました。

2 月 7 日 (金)

教会で執務しました。

2 月 8 日 (土)

終日、「みちのく潮風トレイル」を歩きました。

- 先週、韓国のノウオン教会「青年会」から 8 人のお客様がお越しになりました。石巻栄光教会で共に聖餐のテーブルを囲み、キリシタンの事跡を振り返りつつ被災地でのキリスト者の働き・教会の働きを見て、共に考える時を得ました。お祈りの賜物です。心から感謝いたします。
- 本日、石井さんと渡邊さんと川上牧師は、仙台東六番町教会で礼拝を守っています。石巻栄光教会では中本先生がご奉仕くださいました。良い交わりの時となりますように、お祈りください。

- 3月8日(土)に東松島市で「愛と希望のコンサート」が行われます。中澤先生が中心になって継続している「3.11」の催事です。今年、実務担当の「石巻希望の家」の伊藤先生が体調を崩され、ボランティアスタッフに不足が生じているそうです。川上牧師もお手伝いに参ります。もし、ご協力いただける方がおられましたら、川上牧師にお声がけください。

2月10日(月)

日中、「フォーサイス」読書会の準備をしています。午後、食品放射能計測プロジェクト共同運営委員会をオンラインで主宰し、夜、「フォーサイス」読書会を主宰します。

2月11日(火)

日中、仙台YMCA職員研修に参加しています。

2月12日(水)

午前中、休暇を頂きます。午後「キリシタン」読書会を十三浜で主宰し、夜、祈禱会を主宰します。

2月13日(木)

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、その後、石巻市立図書館で調べ物をしています。

2月14日(金)

日中、休暇を頂きます。夕方からワイズメンズクラブの役員会に出席しています。

2月15日(土)

午前中、エマオにて「侍」読書会を主宰しています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

牧師に付きまとう誘惑

牧師・神父・司祭たちは、あるいは社会運動のチャンピオンになるかもしれません。しかしその時、この自然の世界を超えた領域の営みを代表することを止めてしまい、聖なる救いの出来事を伝える使徒であることを止めてしまうのです。

以上のような牧師・神父・司祭たちの影響力・価値は、世間からの支持を失う時、きれいに消え去ってしまいます。それで、以上のような牧師・神父・司祭たちは、世間の人々を神の名をもって譴責(けんせき)することをためらうようになるのです。世間の人々に悔い改めを迫ることができなくなってしまいます——実に、悔い改めこそが神の国そのものであるのに、です。(教会は民主主義と折り合いが悪いのですが、その深い原因は、教会が悔い改めを迫ることにこそ、あるのです。)人間の本性(ほんせい)に対して暴力的に迫る要求は、どんなものでも、語ることが憚(はばか)られるようになります。人々の間に火事のように燃え広がる欲求に影を差すようなことは、もはや、やりにくい事柄になってしまうのです。いつも「人々の共感と同情を得るような訴えかけをするように」という誘惑に付きまとい、人々の良心に訴えかけることは二の次になってしまいます。人々の支持を基盤として、教会はその影響力を維持するようになります。つまり、そうして得られた影響力をもって、善を行うための槌(てこ)にしようにとし始めることになるのです。

P・T・フォーサイス『教会論』